

国語科の授業の進め方について 〈中学校 第3学年〉

【光村図書】

※説明の中では「中学校第3学年」を「中3」とお示ししています。

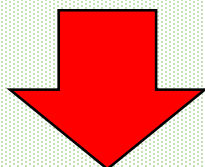
説明の趣旨

- (1) 入学者選抜までに、学習指導要領に示された指導事項を全て指導し終えておく必要があること。
- (2) そのために、2学期以降の指導計画の見直しを図ること。
- (3) 生徒が卒業するまでに、未履修の学習内容がないよう、十分に注意すること。

【2学期以降の学習計画の見直し】

《準備》

- ・ 1学期に学習した単元において、単元目標にした指導事項を確認する。



1学期に取り上げていない指導事項は、2学期以降、必ず単元目標にして指導する必要があります。

※指導事項の確認には、この後に提示した領域別の表を参考にしてください。
なお、提示した表には、教科書発行会社が設定した内容を記入してあります。

教科書教材と指導事項 一覧（話すこと・聞くこと）

※教科書P8を参照

教科書教材 指導事項		社会との関わりを伝えよう	話し合って提案をまとめよう	三年間の歩みを振り返ろう
		話すこと 話題設定や取材・	ア 社会生活の中から話題を決めること。 自分の経験や知識を整理して考えをまとめること。 語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする事。	○
	イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。	○		
聞くこと	ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	○	○	○
話し合うこと	エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。		○	

教科書教材と指導事項 一覧（書くこと）

※教科書P9を参照

教科書教材 指導事項			魅力的な紙面を作ろう	言葉を選ぼう	説得力のある文章を書こう	三年間の歩みを振り返ろう
課題設定や取材・	ア	社会生活の中から課題を決めること。		○	○	
		取材を繰り返しながら自分の考えを深めること。	○			○
		文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	○		○	○
記述	イ	論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。	○		○	○
推敲	ウ	書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。	○			
交流	エ	書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深めること。			○	○

教科書教材と指導事項 一覧（読むこと）

※教科書P10とP11を参照

教科書教材 指導事項		文学的文章									説明的文章						
		春に	握手	俳句の可能性	俳句を味わう	高瀬舟	挨拶 原爆の写真によせて	故郷	初恋	わたしを束ねないで	月の起源を探る	「想いのリレー」に加わろう	「批評」の言葉をためる	新聞の社説を比較して読もう	作られた「物語」を超えて	エルサルバドルの少女 ヘスース	誰かの代わりに
味語の解意	ア	文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
積文章の解	イ	文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。		○		○					○			○	○		○
自分の考えの形成	ウ	文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。		○	○	○			○		○			○	○		
	エ	文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。		○		○	○	○	○			○	○		○	○	○
読書と情報活用	オ	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。				○						○				○	

【2学期以降の学習計画の見直し】

《見直し案》

- ・「誰かの代わりに」（論説）
- ・「三年間の歩みを振り返ろう」（語り合う）

入試までに余裕をもって上記の単元を実施できない場合、次ページ以降にお示しするように、他の教材を学習するときに配慮が必要です。

※案としてお示しするものであり、必ず実施すべきものではありません。

教科書教材 指導事項		説明的文章		
		新聞の社説を比較して読もう	作られた「物語」を超えて	誰かの代わりに
味語の理解の意	ア	文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。	○	○
積文章の解	イ	文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。	○	○
自分の考えの形成	ウ	文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。	○	○
	エ	文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	○	○
報読書活用と情	オ	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。	○	○
授業時数		3	4	5

〈考え方〉

- 今後の学習で扱う説明的文章の単元目標に注目して、「誰かの代わりに」で生徒に付けたい力を、他の説明文教材で身に付けさせるための指導計画を立てる。

〈見直し例〉

- ① 「作られた『物語』を超えて」の学習において、単元目標をより丁寧に扱う。
〔「ア」語句の意味の理解〕
- ② 「新聞の社説を比較して読もう」の学習において、単元目標を追加する。
〔「エ」自分の考えの形成〕

〔C 読むこと〕

〈見直し後の指導例〉①

「作られた『物語』を超えて」

<p>作られた「物語」を超えて 〈単元目標〉</p> <p>◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。 (読(1)ア・イ・ウ)</p> <p>◎筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。 (読(1)エ)</p>	<p>1 本文を通読し、興味をもったことを挙げ、筆者がゴリラの事例を挙げた意図を確かめる。</p> <p>2 ゴリラの事例を通して語られる人間一般の性質を捉える。 → p 165 窓 「論理の展開を捉える」</p> <ul style="list-style-type: none">・「物語」という言葉の使い方などに着目し、この言葉を用いている筆者の思いを考える。・ゴリラの事例から人間一般に論が展開していることや論説の読み方に気付かせる。 <p>→ p 309 窓 「説明的な文章を読むために」</p> <ul style="list-style-type: none">・論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 <p>3 これから出会っていく「新しい世界」について自分の考えをもち、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・「物語」という言葉を新聞や本から探し、筆者の使い方と比べてみる。 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none">・筆者はどのような手順で主張を導き出していたか。・筆者の主張は、文章中のどの部分に表れていたか。	<p>【関】教材文に興味をもち、自分の考えを広げようとしている。</p> <p>【読】語句の意味や論理の展開、表現のしかたなどについて、自分なりに評価している。</p> <p>【言】比喩的に用いられている言葉の意味に気付き、その効果を捉えている。</p> <p>【読】読み取ったことを踏まえ、これからの「新しい世界」について自分の考えをもっている。</p> <p style="text-align: right;">学習活動の追加</p>
---	---	---

〔C 読むこと〕

〈見直し後の指導例〉②

「新聞の社説を比較して読もう」

<p>新聞の社説を比較して読もう 〈単元目標〉</p> <p>◎社説を読み、主張や論理の展開、表現のしかたを捉える。 (読(1)イ)</p> <p>◎一つの話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。 (読(1)ウ)</p>	<p>1 社説を読み、話題を確かめる。 ・わからない言葉を調べながら、社説の話題を確認する。</p> <p>2 二つの社説を読み比べて、内容や表現を整理し、主張や論理の展開のしかたを評価する。 → p126 窓「論説を比較し評価する」 ・「見出し」「主張」「論理の展開」「表現・語句」などの観点で、気づいたことを、p126の例を基に、表にまとめる。 ・主張の内容や、事例の取り上げ方、表現の工夫や論理の展開のしかたについて評価する。</p>	<p>【関】二つの社説を読み、主張や論理の展開の違いに目を向けようとしている。</p> <p>【読】・構成や展開、表現のしかたなど観点到に沿ってまとめている。 ・内容の違いを読み比べ、主張や構成について評価し、自らのものの見方や考え方を広げている。 ※p126学習の窓「論説を比較し評価する」を参考に、複数の論を比較し評価するときの観点をもちこたせる。</p> <p>【言】新聞で用いられる言葉の特徴を捉えている。</p>
<p>◎社説を読み、人間、社会、自然などについて考え、自分の考えをもつ。 (読(1)エ)</p>	<p>3 和食が無形文化遺産に登録されたという話題から、和食に対する自分の考えをまとめる。 ・自分の考えの根拠とするため、和食について、学校図書館やインターネットなどを利用して調べたことを整理しておく。 ・他人との意見交流を通して、自分の考えについて再度見直すとともに、他人へのアドバイスを行う。</p>	<p>【読】・社説を読み、人間、社会、自然などについて考え、自分の考えをもっている。</p>
	<p>4 学習を振り返る。 ・論説を読み比べる観点到にはどのようなものがあったか。 ・社説のどのような考え方や論じ方を生かして文章を書いたか。</p>	

単元目標及び学習活動の追加

(光村図書Webページ「学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料」を基に作成)

教科書教材 指導事項		社会との関わりを伝えよう	話し合って提案をまとめよう	三年間の歩みを振り返ろう	
話すこと 話題設定や取材・	ア	社会生活の中から話題を決めること。		○	
		自分の経験や知識を整理して考えをまとめること。	○	○	○
		語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする事。	○	○	
	イ	場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。	○		
聞くこと	ウ	聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	○	○	○
話し合う	エ	話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。		○	
		授業時数	4	5	2

〈考え方〉

- 今後の学習で扱う教材の単元目標に注目し、「**三年間の歩みを振り返ろう**」で生徒に付けたい力を、他の教材で身に付けさせるための指導計画を立てる。

〈見直し例〉

「話し合って提案をまとめよう」の学習において、単元目標を追加する。

「ア」話題設定・取材



〔A 話すこと・聞くこと〕 〈見直し後の指導例〉 「話し合って提案をまとめよう」

<p>話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く (単元目標)</p> <p>◎社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。 (話聞(1)ア・ウ)</p> <p>◎話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。 (話聞(1)エ)</p>	<p>1 考えた課題を持ち寄り、クラスで話し合う課題を一つに決める。</p> <p>2 グループで具体的な提案を考える。 ・グループに分かれ、ブレインストーミングで自由にアイデアを出し合う。 ※これまでの自分の経験や知識を生かせるよう、話し合う前に考えを書いてまとめる時間を取る。 →p.270 表「話し合いの方法」</p> <p>・クラスでの全体会議に向けて、提案の根拠や取り上げる意義を考え、説得力のある内容となるよう提案を絞り込む。</p> <p>3 全体会議を開く。 →p.170 表「話し合って合意を形成するには」 ・類似の提案の有無、目的、実現性を観点として、各グループの案を整理し、よりよい結論にまとめる。</p> <p>4 話し合いを振り返る。 ・話し合い全体を振り返り、課題解決のために有効だったことや改善すべきことを述べ合う。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・どんな点に気をつけて説得力のある提案にしたか。 ・課題を解決するためにどんなことに注意したか。</p>	<p>【話聞】・社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案し、話し合いを通して自分のものの見方や考え方を深めている。</p> <p>【話聞】・自分の知識や経験を整理して、考えをまとめている。</p> <p>【話聞】・視点に沿って論点を整理し、長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行している。 ※取り上げたい課題と、なぜそれを取り上げたいのか根拠を考えさせる。</p> <p>【言】話し合いという場を意識し、適切な言葉遣いをしている。</p>
--	--	---

学習活動の追加

[B 書くこと]

教科書教材		魅力的な紙面を作ろう	言葉を選ぼう	説得力のある文章を書こう	三年間の歩みを振り返ろう
指導事項					
構 成 設 定 や 取 材 ・	ア	社会生活の中から課題を決めること。	○	○	
		取材を繰り返しながら自分の考えを深めること。	○	○	○
		文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	○	○	○
記 述	イ	論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。	○	○	○
推 敲	ウ	書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。	○		
交 流	エ	書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深めること。		○	○
授業時数		4	1	5	4

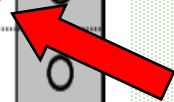
〈考え方〉

- 今後の学習で扱う教材の単元目標に注目し、
「三年間の歩みを振り返ろう」で生徒に付けたい力を、他の教材で身に付けさせるための指導計画を立てる。

〈見直し例〉

「説得力のある文章を書こう」の学習において、単元目標を追加する。

【「ア」課題設定・取材】



〔B 書くこと〕

〈見直し後の指導例〉

「説得力のある文章を書こう」

<p>説得力のある文章を書こう 批評文を書く (単元目標)</p> <p>◎社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。(書(1)ア)</p> <p>◎論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合ってももの見方を深める。 (書(1)イ・エ)</p>	<p>1 批評文について知る。 ・批評文を書く価値を確認し、例を参考に、批評文に必要な要素や書き方を知る。 ◇p73「『批評』の言葉をためる」を読ませてもよい。</p> <p>2 関心のある事柄を選ぶ。 ・テーマ例を参考に、社会生活の中から関心のある事柄を選ぶ。 →p 268「発想を広げる」</p>	<p>【関】社会生活の中の事柄について、自分の意見を明確にて批評文を書こうとしている。</p>
	<p>3 観点を立てて分析する。 ・選んだ事柄を分析するための観点を挙げ、友達と見せ合い、助言をし合う。 ◇好き嫌いや印象だけの評価にならないように取材させる。</p>	<p>【書】・それまでの考えを改めたり、別の角度から検討したりするなど、取材を繰り返しながら自分の考えを深めている。</p>
	<p>4 論理の展開を考える。 ・文章の構成や資料の引用箇所などを工夫する。</p> <p>5 下書きをして文章にまとめる。 ・p 176「説得力のある批評文を書くには」や、p 177「批評するときの言葉」、p 273「抽象的な言葉」などを参考にして書く。</p> <p>6 文章を読み合い、考えを深める。 ・説得力を高める工夫やもの見方で参考になるところはないか、話し合う。</p> <p>7 学習を振り返る。 ・どのような点に注意して情報を分析したか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。</p>	<p>【書】・判断や批評の根拠を明確にし資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いている。</p> <p>【書】・友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。 ※「分析の観点」「表現のしかた」など、文章を読みうときの観点をあらかじめ提示しておく。</p> <p>【言】自分の意見を効果的に表現するために、批評するときの言葉を適切に使い分けている。</p>

学習活動の追加